

太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書

今年7月に開催された洞爺湖サミットでは、地球温暖化防止問題が主要テーマとして議論され、議長国であるわが国においても、2050年に温室効果ガスの総排出量を60%〜80%削減するという積極的な目標を掲げたところである。

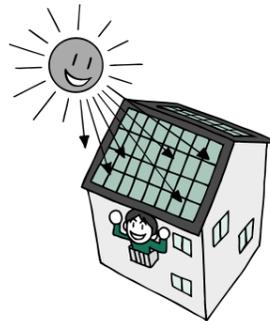
二酸化炭素などの温室効果ガスを生み出す原因としては、石炭や石油、天然ガスなど化石燃料の燃焼が挙げられ、その根本的な解決のためには、化石燃料によらない新エネルギーを確保することが求められている。

その新エネルギーのなかでも、太陽光発電については、天然資源に乏しいわが国において広く普及が可能なエネルギーとして注目を集め、その導入量は2006年末で170・9万kwであり、ドイツ、米

などから、国内導入量が一転して前年比マイナスの状況に陥り、技術革新や量産効果などにより低下していた太陽光発電設備の設置単価が2006年からは上昇に転じる結果となった。

こうした事態の打開に向けて、福田総理は「経済財政改革の基本方針2008」や地球温暖化対策の方針「福田ビジョン」において、「太陽光発電については、世界一の座を再び獲得することを目指し、2020年までに10倍、2030年に40倍を導入量の目標とする」と、目標を示したところである。

「環境立国」を掲げるわが国が、太陽光発電世界一の座を奪還するためには、エネルギー導入量増加に向け、総理のリーダーシップのもと政府・各省が連携を緊密にとり



つつ、具体的には、「住宅分野」、「大規模電力供給用に向けたメガソーラー分野」、「さらなるコスト削減に向けた技術開発分野」、「普及促進のための情報発信・啓発分野」の各分野に対して支援策を打ち出す必要があると考える。

- (1) 国による住宅用太陽光発電導入促進対策費補助金補助事業制度の再導入ならびに同事業予算の拡充
- (2) 分譲集合住宅の購入者を対象とする太陽光発電システム取得控除制度の導入や賃貸住宅オーナーの固定資産税の減税措置など集合住宅用の太陽光発電システム導入支援策の推進
- (3) 国主導による大規模太陽光発電システムの本格的導入ならびにそのための制度整備
- (4) 導入コスト低減に関わる技術開発促進策の推進
- (5) 太陽光発電システムの普及促進のための情報発信・啓発活動の推進

提出先 内閣総理大臣 経済産業大臣 環境大臣

保育の規制緩和を推し進めないよう求める意見書

1948年に児童福祉法が制定されて60年が経過しました。戦後の混乱期、戦災孤児などが多かつたときに、「保育に欠ける」子どもを預かり、親に代わって保育し、幼児教育を行う施設として保育所が位置づけられました。

今日、時代は変わりましたが、両親とも働いていて「保育に欠ける」という状況は、子どもから見れば何も変わっていません。子育てをめぐり、様々な悩みを持つ親も多く、豊かな経験と実績を積んできた保育所が果たすべき役割はますます大きくなっています。ところがいま、政府の経済財政諮問会議などが、保育制度の見直しを求める提言を次々と発表しています。それは、①施設整備や職員配置についての全国一律の最低基準を廃止して地方に委ね

る、②保育が必要な子どもへの保育提供に市町村が責任を持つ現在の方式から、保護者と事業者が直接契約を結ぶ方式に変える、など規制緩和というべきものです。経済財政諮問会議などでは、経済界のトップや大学教授などが経営学的立場で見解を述べるなど、保育現場の現状に配慮した発言は見られません。保育を、単なるサービス産業の一環としかとらえていないという疑念がぬぐえず、保育関係者からは「ビジネスとしての保育」という考え方に不安の声が上がっています。政府がやるべきことは、補助制度の増額を図り、保育所が維持運営できるようにすることです。

提出先 内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・衆参議院議長



傍聴席から

※他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部をご紹介します。

町民として町政への関心を持つべきと思っている。今後も時間があれば傍聴したい。(藤久保Kさん)

町道は大型車同士のすれ違いが容易ではない。(大型車が通れる道ではない)現状の条件でフルインター化を検討していただきたい。大型車通行のために町税を使うことはしないでください。福祉に回して欲しい。(無記名)

内容を詳しく調査し議員さんの内側、大変さがわかりました。町の様子がよくわかりました。対話方式でよくわかります。(藤久保Aさん)

前回傍聴に来たときは、妻と2人で来ましたが、傍聴人は私たちだけで、議員の人たちは緊張感がなく居眠りをしていた人が何人もいました。今回傍聴人が多いので居眠りがなくてよかった。(北永井Kさん)

質問側も答弁側も真剣そのもの。時事通信、証券グラウンドがなくなった頃は失望しましたが、チェルシー・グランシアとなり次代を担っていただけるエネルギーとなり、そうなるべくフォローの体制を整えていかれること、こういう所で検討されているのがわかりました。低所得に自分も入っているのも今頃わかりましたが、貧乏ともさして思わずに慣れておりました。今後も守っていただく町政を期待します。(北永井Iさん)

他の市からの住民が三芳町議会の傍聴に来ることがお邪魔ではないかと恐縮しました。鈴木町長さん、議員の方々、役所の方々にお会いできたことが嬉しかったです。(富士見市Sさん)

少子化が進むなか、町の教育行政の難しさ、問題点がよくわかりました。子どもは未来の宝。有能な人材に育っていきける環境づくりが今問われていると思う。教育関係者の子ども中心の環境づくりに期待したい。(北永井Fさん)

国民健康保険の資格証明書が三芳は多いのだと知りました。待機児童が意外に少ないのだなあと思いました。公園が少ないので作ってほしいと思いました。(北永井Iさん)

[9月定例会傍聴者内訳]

1日(月)	2日(火)	4日(木)	5日(金)	8日(月)	9日(火)	11日(木)	12日(金)	16日(火)	合計
1名	0名	1名	22名 (うち夜間20)	4名	0名	2名	1名	1名	32名



平成20年 9月 5日



# 夜間議会を開催しました

今回の定例会で、議場の一般質問席設置に続き、議会改革の一環として夜間議会を開催しました。普段は平日の昼間に行っている議会を夜間に実施することによって、より多くの方に、本会議の傍聴に来ていただくことを目的としています。

内容は、3名の議員の町政に対する一般質問を、午後6時から午後9時30分の間に行いました。延べ20名の住民の方が傍聴され、アンケートでは貴重なご意見をいただきました。

今後も三芳町議会は、議会改革を推進し、住民の方に身近で開かれた議会を目指して努力してまいります。

## ・ 議会改革の経緯 ・

- 傍聴時間が取りやすいので大変よい。  
(藤久保Kさん)
- 今後も夜の議会を多くすることによって議会の関心が増えると思います。  
(藤久保Uさん)
- 時間的に6時はちょっと……。でも終わる時間が遅くなりますよね  
(藤久保Aさん)
- 夜間に開催していただけたので傍聴できました。今後も休日、夜間で開いて欲しい。  
(富士見市Kさん)
- 夜間議会のせいか他の課長や議員さんの態度に緊張感がない。町のための議員であり、町民のための議員なら責任をもって取り組んでもらいたい。今日みたいな傍聴ならもう来たくない。仕事帰りでも来たいと思うような議会をやって欲しい。今回僕は仕事帰りに駆けつけて来ました。平日の昼間だと行けない人がいるが夜間議会にしてもらえると来やすいと思う。1回目来たときより2回目(今日)の方が明らかに傍聴の人が多いので、今後夜間議会の回数を増やしたほうがよいと思う。(藤久保Yさん)
- 昼間はなかなか来ることができないのでよいと思います。  
(北永井Kさん)
- 昼間会社勤めをしているため非常に助かります。  
(富士見市Sさん)



夜間議会の感想を  
傍聴者に聞きました

H19年	10月23～24日	議会運営委員会 (所管事務調査)	「議会運営」について先進地を視察 場所：埼玉県宮代町と宮城県本吉町 内容：一般質問の方法・反問権・議会活性化について
	12月11日	全員協議会	議会運営委員会所管事務調査の報告を受け、議会の活性化について協議し、議会の改革を進めることで合意
H20年	2月18日	全員協議会	議会改革について、具体案をまとめる ◎一般質問席の設置 → 6月定例会から実施 ◎夜間議会 → 9月定例会を予定(内容は一般質問) ◎土・日曜日議会 → 3月定例会を予定(内容は一般会計予算審議) ◎継続協議事項(議会報告会・反問権)
	3月定例会		議会規則を変更し一般質問席を設置する準備をする
	3月25日	全員協議会	反問権について協議
	6月定例会		一般質問席設置
	6月10日	全員協議会	夜間議会について協議、日程及び内容を決定
	7月10～11日	議会運営委員会 (所管事務調査)	「議会運営」について先進地を視察 場所：福島県会津若松市・三春町 内容：議会改革への取り組みについて
	9月定例会		夜間議会実施(一般質問3名 午後6時から午後9時30分まで)

# 議会活動日誌

## 8月

- 5日 入間東部地区消防組合議会総務常任委員会
- 19日 入間東部地区消防組合議会AED研修会
- 26日 議会運営委員会
- 27日～29日 関東町村議会議長会管外行政視察

## 9月

- 1日～16日 第4回三芳町議会定例会
- 4日 総務建設常任委員会
- 5日 全員協議会・厚生文教常任委員会・夜間議会開催
- 8日 総務建設常任委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 25日 入間東部地区衛生組合議会第2回定例会
- 29日 入間東部地区消防組合議会第2回定例会
- 30日 広域ゴミ処理施設等検討委員会

## 10月

- 7日 山梨県昭和町総務常任委員会視察来庁
- 8日 議会だより編集委員会
- 10日 全員協議会
- 15日～16日 関東各都県町村議会議長会会長会議
- 17日 埼玉県町村議会議員研修会
- 21日 埼玉県後期高齢者医療広域連合定例会  
東日本各都県議会議長会会長会議
- 22日 全国都道府県町村議会議長会会長会議
- 21日～22日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 24日 入間郡町村議会議長会
- 29日 埼玉県松伏町議会運営委員会視察来庁
- 30日 入間東部地区衛生組合視察研修
- 31日 埼玉県町村議会議長会役員会



次の議会定例会は **12月1日(月)**開会予定  
皆様の傍聴をお待ちしております。

傍聴される方は、必ず6階議会事務局で受け付けをお願いします

FAX・メール等による、ご意見・ご要望もお待ちしております。

## 編集後記

日中に、議会傍聴に来られない住民の皆様への配慮として、初めて夜間議会を開催しました。傍聴席は全てが埋まらなかったものの、初の夜間議会としては、まずまずの成果であったように感じました。

また、夜間の議会開催ということから、執行部側も我々議会側もいくつかの課題もありました。執行部側は、夜間警備・職員の時間外手当等、議会側は、夜間議事をみよしまつりの前日に開催したことなど。みよしまつりには、多くの職員が、夜遅くまで準備していることを考えますと、次回は、課題を十分にクリアしたいと思います。

さて、議会活動をひとりでも多くの方に知っていただくには、日頃から住民の皆様と接することが必要だと思えます。きつと議会への関心度も高まるのではないかと思います。

いつの日か昼間の議会も夜間の議会も傍聴席は常に満杯!! そして、今以上に緊張感を持った中で議会を開催したいと思います。

(議会だより編集委員 山田)

議員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
長	員	員	員	員	員
秋	光	山	内	菊	神
坂	下	田	藤	地	田
	重	政	美	浩	順
豊	之	弘	佐	二	子